

日南小学校学校生活アンケート

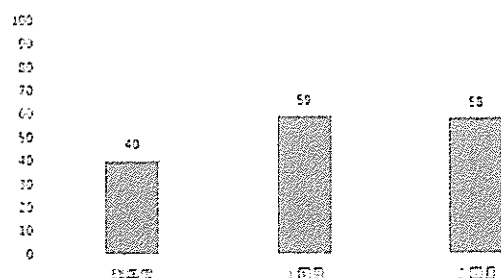
(保護者)

- ・回収率 75% 解答用紙およびオンライン Google Form による回答
- ・着目すべき変化の見える主な項目と課題となる項目
- ・数値は肯定的な評価の割合 (%)

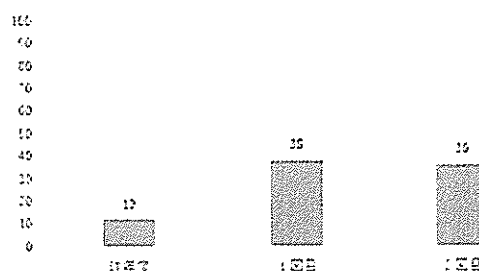
<学校の取り組みと保小中連携>

項 目	昨年度	1回目	2回目
学校は保小中一貫教育を推進している。	40	59	58
学校のホームページはよく見ている。	12	38	36

学校は保小中一貫教育を推進している



学校のホームページはよく見ている



—保護者の意見—

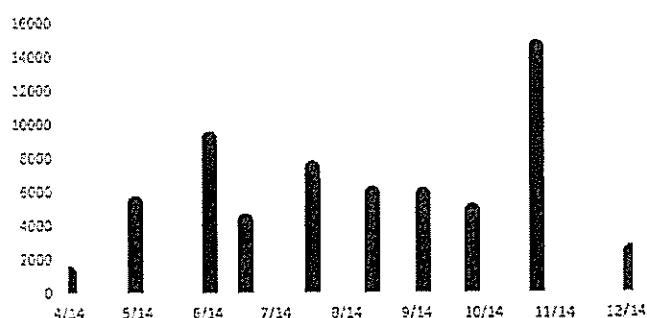
- ・コロナ禍であるが、もう少し交流があってもよいと思う。
- ・昨年から学校がどのように変化したのかそのあたりを知る機会がほしい。子供たちの様子が伝わってこないのもっと積極的に伝える努力をしてほしい。
- ・わからないことには気持ちよく答えていただけて感謝している。
- ・オンラインの掲示板などでもよいので共有してください。

—学校の取り組み—

○保育園連携

- ・計画的な園児と児童の交流活動の実施。
(6年生3回、1年生2回)
- ・保小合同職員研修2回、保小連携委員会
(各月)の実施。

ホームページアクセス数推移



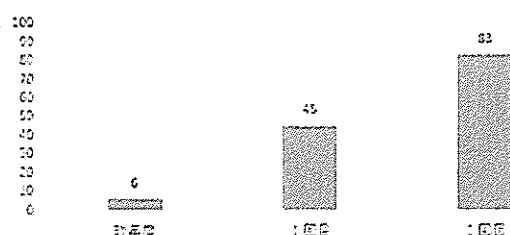
○中学校連携

- ・小中戦略員会（毎月1回）、小中合同研修会（各学期1回、計3回）、中学校ふれあい教室（小6、2月）、乗り入れ授業（中学校教員が6年に指導、社図音）生徒指導情報交換会（小中生徒指導主任により週1回）は定着し、継続している。
- ・合同マラソン大会、及び合同避難訓練は感染拡大予防のため各校で実施した。
- ・ホームページによる情報発信は、ほぼ毎日更新し、少しずつアクセスは増加している。特に学期末に閲覧者数が増加する。（参照：「アクセス回数の推移」）
- ・アシストの協力を得て、日南チャンネルを活用し学校の様子を伝えるようにした。校内で職員が撮影した動画も活用している。

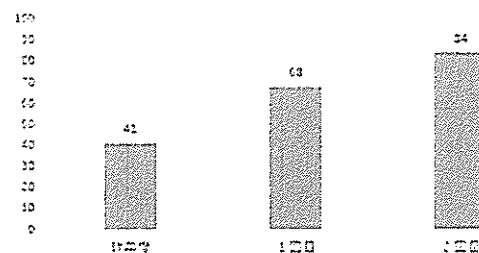
<児童の学校生活や学習について>

項 目	昨年度	1回目	2回目
お子さんは学級みんなで何かをやり遂げたことを実感している。	6	45	83
お子さんにとって授業は分かりやすく工夫されている。	41	68	84
お子さんは自分の考えを発表することは好きだ。	35	48	48

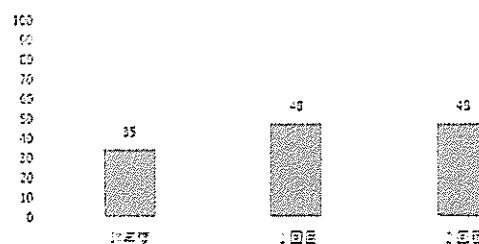
お子さんは学級みんなで何かをやり遂げたことを実感している



お子さんにとって授業は分かりやすく工夫されている



お子さんは自分の考えを発表することは好きだ



ー保護者の意見ー

- ・仲間づくりが考える力につながる学習となっている。
- ・普段のタブレット学習は、自宅では必要ないと思う。
- ・iPadを持ち帰るが勉強以外にも使用することがある。

ー学校の取り組みー

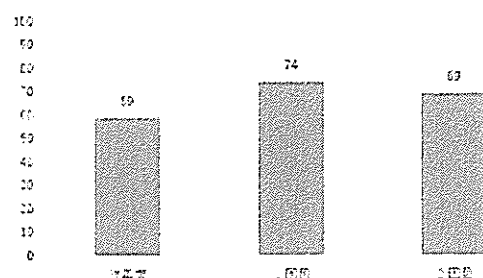
- ・「学級力」を研究の柱にして学級の目標を指標化。（年間6回）学級経営を可視化し学級の子ども同士のつながりを改善し、人を大切にした学ぶ集団づくりが機能している。
- ・運動会での色別の取り組みにより異学年編成による縦割りの活動により高学年の子どものリーダーシップが醸成された。
- ・1時間の授業で子どもが主体的、能動的に学習に取り組むような時間配分にした。

- ・新聞社の記事を使った問題プリントを全学年で導入し、文章内容をとらえたりまとめたりしている。
- ・ひとり一台タブレット端末配布により授業におけるＩＣＴ機器の活用が進んでいる。（デジタル教科書、電子教材の活用、遠隔学習の実施。）

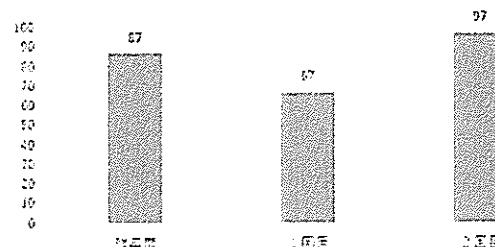
＜豊かな心の育ち＞

項 目	昨年度	1回目	2回目
お子さんは夢や目標をもってる。	59	74	69
お子さんは楽しく話したり遊んだりする友達がいる。	87	67	97
お子さんは自分の良いところを知っている。	69	38	75

お子さんは夢や目標をもってる



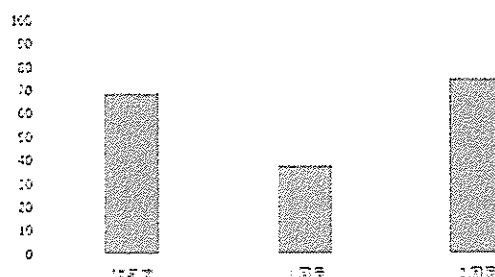
お子さんは楽しく話したり遊んだりする友達がいる



ー保護者の意見ー

- ・全体的に挨拶ができていないと感じる。クラブ活動（スポ少）を見に行っても人の話が聞けない。
- ・今年になって挨拶をよくしてくれるようになった。保護者も意識しているようだ。
- ・あきらめない力や励ましあう力をもっとつけてほしい。
- ・言葉で相手を死に至らしめることもあり、SNSや情報化社会に生きる子どもたちに言葉のもつ力を伝えていただきたい

お子さんは自分の良いところを知っている



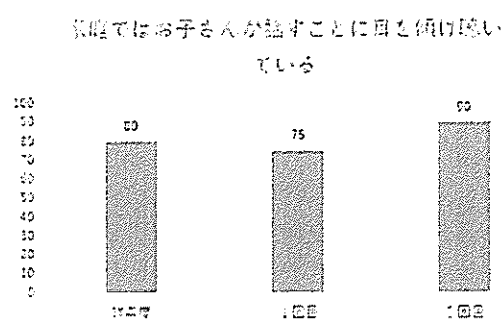
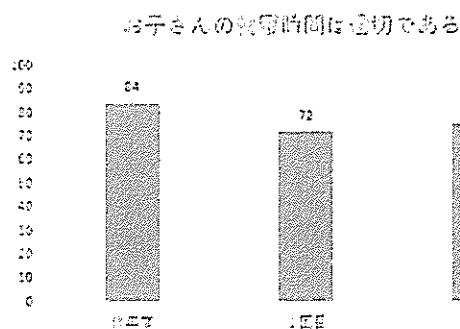
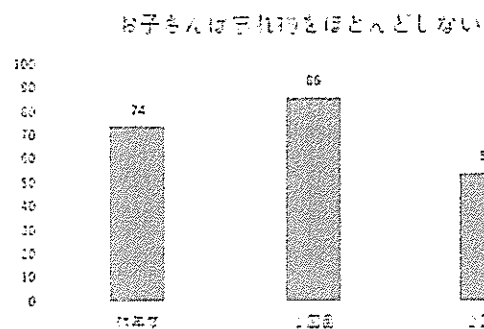
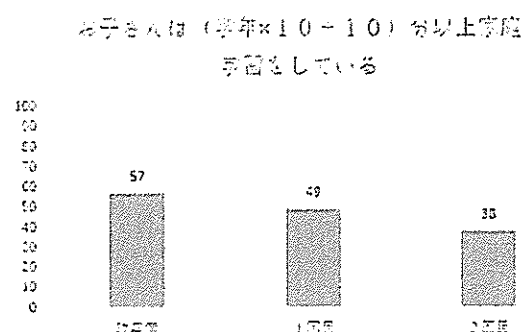
ー学校の取り組みー

- ・聴くこと、挨拶することは継続して指導している。聴くことについての注意喚起や指導を重ねている。
- ・高学年の児童の問題行動も沈静化してきており、学習に向かう児童が増えてきた。依然として時間を守りにくことや適切な言動ができない場面もあるが、少しずつ改善してきている。

日常的な子どもへの声かけをすることでわずかな子どもの心情的身体的な変化を捉え、いじめにつながる行動や言動の多角的な情報収集を行うとともに迅速に情報を伝達共有し組織的な対応を保護者と連携をとりながら指導をしている。

<家庭生活>

項 目	昨年度	1回目	2回目
お子さんは（学年×10＋10）分以上家庭学習をしている。	57	49	38
お子さんは忘れ物をほとんどしない。	74	86	54
お子さんの就寝時間は適切である。	84	72	75
家庭ではお子さんが話すことに耳を傾け聴いている。	80	75	90



一学校の取り組み一

- ・家庭での学習は依然として課題となっている。
- ・学習に必要な準備物も近年減らす傾向にあるものの、必要な学習用具など揃えることが難しい。（教科書、副教材（ドリル、問題集、資料集）、ノート、筆記用具）
- ・生活リズムが崩れていることから学校での学習に困難さを抱えている児童が少なからずある。メディア利用による要因も含め多様である。
- ・睡眠時間確保が不十分なことは健全な発達の段階に影響があると考えられる。